

各地区業況アンケート結果（2020年3月調査分）

（2020年3月25日）

全国鉄鋼販売業連合会

3月24日締切で、当会役員149名に対しこのアンケートを行ったところ83名の回答があり（回答率55.7%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

1. 7割強が前年割れ

問1】貴社の2月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	3	5	16	27	31	82	78
比率	4%	6%	19%	33%	38%	DI-95	DI-90
売上金額/前年同月比	3	2	16	30	32	83	79
比率	4%	2%	19%	36%	39%	DI-104	DI-95

2. 赤字企業45%

問2】貴社の2月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	6	14	26	25	12	83	79
比率	7%	17%	31%	30%	15%	DI-28	DI-29

3. 全向け先で減少傾向

問3】貴社の営業窓口から見て3月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向	1	1	24	20	8	55	-61	-45
民間建設向		6	20	29	10	65	-66	-48
自動車向		1	12	22	3	38	-71	-44
その他需要家向		1	23	32	10	66	-77	-62
仲間取引			17	37	14	68	-96	-69
計	1	9	96	140	45	291	-75	-55
比率	0%	3%	33%	48%	16%			

4. 年度初めも減少傾向

問4】貴社における向う4月から6月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	1	6	25	31	19	82	78
比率	1%	7%	31%	38%	23%	DI -74	DI -51

5. 過剰きみ傾向慢性化

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	品種別	A	B	C	D	E		3月
DI	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	DI												
0	0	6	0	-7	-14	-28	-31	-27	-34	-9	-21	-25	鉄筋用丸鋼			22	10		32	-31
-3	0	-6	-3	-16	-18	-23	-29	-28	-25	-21	-29	-17	構造用丸鋼			22	8		30	-27
-3	3	-8	-8	-9	-18	-20	-10	-12	-6	-15	-12	-6	平角鋼		1	27	7		35	-17
15	11	-8	-24	-22	-36	-29	-29	-18	-13	-6	-16	-30	H形鋼		2	24	6		32	-13
85	57	25	12	4	-11	-15	-26	-11	-19	-22	-16	-28	コラム			17	7	1	25	-36
-11	-8	-3	-10	-14	-15	-16	-24	-16	-17	-22	-16	-17	小形山形鋼		1	29	8		38	-18
-14	-8	-15	-15	-16	-20	-23	-29	-21	-22	-29	-30	-24	中形山形鋼		2	25	11		38	-24
-11	-3	-13	-19	-17	-23	-21	-26	-29	-19	-26	-26	-20	溝形鋼		2	24	11		37	-24
-16	-9	-3	-12	-10	-13	-15	-34	-30	-31	-29	-26	-20	軽量形鋼C形			25	8		33	-24
-9	0	-12	-10	-5	-5	-11	-25	-16	-15	-18	-26	-15	軽量形鋼広巾			17	3		20	-15
-3	0	-21	-32	-34	-43	-58	-58	-53	-53	-47	-61	-58	冷延薄板			14	16	1	31	-58
-3	-3	-21	-28	-34	-55	-55	-50	-56	-60	-47	-55	-55	熱延薄板			17	15	2	34	-56
-7	-10	-32	-43	-45	-52	-53	-68	-59	-53	-52	-63	-68	表面処理鋼板			14	15	3	32	-66
3	0	-25	-39	-38	-44	-51	-57	-53	-56	-58	-64	-65	酸洗鋼板			13	17	3	33	-70
7	0	-13	-19	-33	-50	-48	-47	-51	-50	-48	-56	-51	中板			24	17	2	43	-49
15	17	0	-10	-29	-50	-38	-45	-51	-49	-49	-49	-44	厚板			21	17	5	43	-63
19	5	0	-13	-12	-32	-25	-20	-28	-22	-32	-29	-47	極厚板			10	7	1	18	-50
6	0	0	0	-14	-19	-13	-29	-27	-21	-23	-25	-18	縞板		1	22	7		30	-20
-5	-10	-8	-18	-15	-30	-18	-31	-30	-28	-27	-28	-32	中径角			28	12		40	-30
2	2	-8	-8	-13	-16	-10	-25	-15	-19	-5	-18	-20	ガス管黒			34	6	1	41	-20
-5	-5	-13	-19	-5	-17	-11	-22	-16	-17	-5	-17	-21	構造用鋼管			32	8		40	-20
2	1	-9	-15	-19	-28	-28	-34	-31	-30	-28	-33	-32	計	0	9	461	216	19	705	-35

6. 新型コロナウイルスの影響、出始める

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	新型肺炎の為、とにかく雰囲気良くない。これからのホテル計画に影響されないか心配である。形鋼は少しずつ引合いと実需が出てきているので春らしくなってきた。市況は本州に引つ張られ弱い。
	B	需要減退傾向にある中、新型コロナウイルスの感染拡大は北海道に大きな影を落としている。春需が心配である。
	C	引合い、出荷数量ともに減少している。
東北	A	需要低調で、今年前半の動きは良くならないと思われる。
	B	ゼネコンの指値が厳しくなっており、丸棒価格の下落に歯止めが利かない状況。
	C	時期的に不需要期であり、全業種において需要が薄く荷動きは良くない。特に県内の製造業は年間を通して山が低い状態が続いており、今年6月頃まで尾を引くと見ている。主要ファブにおいては、過度に山積みが高くしておらず、現状8割稼働の状況である。目先も見えているものの玉数は期待できないと見ている。また、鋼材市況価格においても大きく下げしており、地場特約店としては経営的にも厳しい状況である。新型肺炎の影響で中国の依存度が高いことがわかった。また、先行きのはっきりしない不安が大きく影を落としている。
	D	2月売上金額は前月比18%減と惨憺たる状態。12月、1月と連続して悪かったが、2月でトドメを刺された感がある。このままでは企業の存続が危うい。
	E	そもそも需要が少ない上に打ち合わせ、出張も延期や中止。新型コロナウイルスが収束しないと仕事にならない。
新潟	A	暖冬、消費増税の影響で暖房器具は低調。家電、自動車などは新型コロナウイルス関係で中国からの部品調達難で生産調整している。県内ファブは先の山積みを抱え徐々に増え、積み込みも足元は少なく、すべての品種で低調となっている。
	B	需要がない上に新型コロナウイルスの影響で先行きの不安が増大している。東京オリンピック・パラリンピックがもし、中止、延期になった場合の経済的損失は計り知れない。今はただ世界での新型ウイルス感染拡大が収まり、世界経済が一日も早く正常化することを願う。
	C	加工品は受注が重なりと残業対応をして、終わると急激に稼働が落ちる。非常に山・谷が大きい。
	D	県内物件は非常に少なく、見積りも少ない状況。価格は弱含みである。
	E	1～2月と停滞感、3月に入っても明るい展望は見えず、悲観的にならず前向きに行く。
	F	部品の入荷が滞ってあらゆる分野で生産調整と聞く。メーカーの価格維持が市況の急落を抑えてくれる。価格を維持してこの期間を踏ん張りたい。
神奈川	A	新型コロナウイルス感染拡大の影響かどうか分からないが、現場の搬入が激減している。東京オリンピック・パラリンピックの影響で、都心の案件は先になることが予想されているが、月を追う事に悪くなっていくのは予想外であった。
	B	仕事が少なくなっており、先の納期分を切断している状況。その分、来期の仕事量も少なくなると思う。
	C	荷動き悪く、在庫が積みあがる状況。補充の必要なし。輸入材の影響を含めマーケットは更に厳しくなる。

東京	A	元々仕事が低調なところに武漢肺炎の影響で拍車がかかっている。震災後、リーマンショック後を上回る影響が出そうである。
	B	鉄筋の店売りは2月まで低調だが、なんとかなっていた。3月は不調の日も出てきた。単価は弱含み横ばいである。
	C	(鋼管) 全品種、全分野が低迷。今後の不透明さは過去にない。
	D	(酸洗鋼板) 新型コロナウイルス感染拡大の影響が出始め、需要の陰りが更に出始めた。休校や飲食の自粛など経済活動ストップに拍車がかかっている。ただでさえ悪かった環境が更に悪化した。早く収束することを願いたい。
	E	2月の販売量は、2009年リーマンショック後に最悪の販売が続いた時と同様の数量であった。この状況は暫く続くと思われる。東京オリンピック・パラリンピック終了後、環境が良くなる事を願うばかりである。
	F	昨年10月の消費税10%で消費低迷。今回の新型コロナウイルス感染拡大の影響で各種経済活動の制限が加わり、納入時の制限、製造側では部品調達難などの情報が多く、今後の不安が大きくなってきている。当社としては営業活動を一時的に制限する対策をとるが荷動きの悪さから競合他社の動きも活発になり、価格競争が一層激しくなることが予想される。我々中小零細企業は感染＝倒産との意識で行動しなければならない。
	G	現況は予想されたことだが、新型コロナウイルス感染拡大の禍においては会社としての対応に苦慮している。
	H	特価対応での販売価格も目立ち、市況相場が崩れてきている。輸出入関係で新型コロナウイルス感染拡大の影響も出ている。
静岡	A	需要減であったところへ新型コロナウイルスの影響もあり、販売量は低下。各品種とも安価でも売れない。売っても儲からない厳しい状況となっている。薄板は自動車、工作機械などの低迷から余ったひも付き材と輸入材の影響で市況は悪くなるばかりである。
	B	地方からみると東京(首都圏)はお金が集まる場所だとつくづく思う。地方再生をという言葉が聞かれるが新型コロナウイルス対策で地方自治体は停滞状態である。このような時こそ「商機、チャンスあり」と言われたものだが、如何なものか。鉄骨大手ファブはそれなりである。仕事の山は、低くなりつつもバタつき感はない。今月は新型コロナウイルス対策実施がすべてのイニシアチブをとっている。信用調査の依頼先から調査先の対応のことだと思うが調査資料をまとめられない環境になってきているようだ。
石川	A	新型コロナウイルスのマイナス現象による鉄鋼の生産、販売、ユーザーへの影響はまだ薄い気がするが予測できない。長期化(6ヶ月以上)続けば、関係者全員かなり響くと思われる。リーマンショック並みかそれ以上のダメージを受けるだろう。但し、ウイルスが消えれば回復は早い。確実に言えることは、中国への見方が完全に冷えてしまい、一時的にただの大国としか見なさざるをえなくなるだろう。その時、相場はどうなっているか心配である。
	B	これから更に数量が落ちてくるとなると大変厳しい。新型コロナウイルスの影響が出てくるのはこれからだと思う。
富山		2月度の鉄骨物件は低調であったが、3月から増加に向かい5月頃までは続く見込みである。売上減少による在庫増加の中で某電炉メーカーの値下げのため利益なき販売期間が長引く気配である。新規契約が住宅、工場、マンション等、保留物件も散見れる反面、修理、増築が出てきている。

愛知	A	(自動車) 今後、新型コロナウイルス感染拡大の影響により受注量に影響が出るだろう。(家具) 物件量が少なく、前年対比ダウンが続いている。短納期かつ小口案件が多い状況。(陳列) 引き続き物件はある。しかし、一時的な受注なので悩ましい。
	B	もともと工作機械、民間建築の受注減に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、顧客マインドが大きく低下している。先々の仕事に見通しが無い分、足元の動きが鈍化している。
	C	新型コロナウイルスの影響から最悪の状況に向かっている。これが終息するまで回復は見込めない。
三重		荷動きに力強さがなく、需要減退を背景に市況は西から弱含みで推移している。高力ボルトの入手難が回復しても、一向に需要を押し上げる程の勢いが無い。受注格差が拡大傾向にあり、Mグレード以下のファブの山積みの差が激しい。見積りが少ないというファブが多く、大型物件から中小物件まで足元の荷動きは芳しくない。
岐阜	A	工作機械向けが特に悪い。こうなると薄板梱包の安売りが即始まる。他地区からの売込みも始まる。営業がやる気をもって安売りを始める。会社戦略だから仕方ないかもしれない。新車や住宅の営業マンとは違うのだろう。購買する側の考えもあるが、地域相場がもろく戻りにくい。タイト感が少しでも出るとトイレットペーパーのように品薄になるの繰り返しである。
	B	コロナウイルスの影響が、いつまで続くのか予測できないなか、各業種の仕事量が減ってきている。4月、5月の状況を予測して、与信管理を慎重にしていかなければならない。仕事量も減ってきており、電炉メーカーの値下げ発表もあり、エンドユーザーからの価格交渉も来ている状況。
大阪	A	新型コロナウイルスの感染拡大が経済に大きな打撃を与えつつある。4月以降も収束が見えなければ、国内製造業を中心に業績が悪化すると思われる。数量減、市況安が懸念される。
	B	一部で中小鉄骨物件(介護施設、賃貸アパートなど)は出てきているが、全般的な動きは悪い。また一部でコロナウイルス感染拡大の影響で中国より建築資材入荷の遅れが戸建住宅の着工遅れ、キャンセルといった動きも現れはじめ今後の動向が懸念される。
岡山		新型コロナウイルス感染拡大の影響はまだわからないが、在阪取引先からのアポは断っている。仕事中止の話はない。水島の高炉定修には期待している。値下げしても販売量が増えるわけでないが、上位流通の販価下落の影響は避けられない。仕入の切板価格がなかなか下がらないのが不満。
香川		新型コロナウイルスの影響がじわりと広がっている。経済はますます停滞し、観光、飲食、商業なども打撃を受けている。マインドがどんどん下降しているような気がする。製造業の一部で部品を中国に依頼している企業は在庫がなくなると生産が止まるといった状況もあるようだ。
福岡		建築や土木については、公共、民間ともに年度末工事の影響で、3月の材料の荷動きは前半までで後半下がるのは例年通り。例年以上に4月以降の与信管理が必要である。
北九州		荷動きは低調なまま市況も弱含み。スクラップの相場も強くなく先行き不透明なままである。